

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金にご協力をお願いします!

募集期間 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、誰でも参加できる身近な《福祉参加の機会》です。

この運動は昭和22年から続いており、豊田市では今年も区長さんや組長さんのご協力をいただいて赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を同時に募集させていただきます。

お寄せいただいた募金は、高齢の方や障がいのある方、生活に困っている方のために使われます。

みなさまのあたたかいご協力をよろしくお願いします。



平成22年度 赤い羽根共同募金実績額

赤い羽根募金 30,247,226円
歳末たすけあい募金 9,990,935円

～募金の使い道～

- 心配ごと相談事業
- 福祉健康フェスティバルの開催
- ボランティア事業
- 長寿祝事業
- 消火器支給事業
- 生活困窮世帯の支援 など

*ご協力は強制ではありませんが、募金の趣旨にご理解を賜り、ご協力をお願いします。

*募金いただく金額に定めはありません。

*会社等法人の寄付金は全額損金算入できます。

*下記の金額を超える寄付金は「個人領収書」により控除の対象になります。

・2,000円以上……所得税の寄付金控除

・5,000円以上……個人住民税の寄付金控除

*「個人領収書」をご希望の方は事前にお問い合わせください。

<問合せ>

豊田市共同募金委員会 34-1131

豊田市社会福祉協議会の理念・経営方針

理念

私たちは、地域住民と協働して社会福祉事業を進め、子供から高齢者まですべての人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりをめざします。

経営方針

- (1)福祉関係者との連携を密にし、積極的に地域福祉を推進します。
- (2)愛と思いやりをもって質の高い福祉サービスを提供します。
- (3)住民(会員)の期待に応えられるよう提案型の事業経営を行います。

思いやり いつでもどこでも 誰にでも



レスパイト事業

在宅重度心身障がい児(者)を対象に、理由は問わずに一時的にお世話します。

〈実施場所〉障がい者福祉会館

緊急一時保護事業

在宅重度心身障がい児(者)を対象に、保護者の傷病・冠婚葬祭又は学校等の公的行事への参加により介護ができない場合に、一時的に昼間保護をします。

〈実施場所〉障がい者福祉会館

障がい児タイムケア事業

障がいのある小中高生等が、日中活動する場を確保することにより、障がい児を持つ親の就労支援及び日常的にケアしている家族に一時的に休息を提供します。

〈実施場所〉障がい者福祉会館

障がい者・児居宅介護等事業〈自立支援法〉

身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者の在宅生活を支援するため、身体介護・家事援助等の居宅介護又は外出介護の援助を行います。

〈実施場所〉
地域福祉サービスセンター、旭・足助・稲武・小原・藤岡支所

社会福祉協議会の実施している障がい者を支援する福祉サービスをご紹介します

精神障がい者小規模作業所 (はばたき工房・ポジティブ21いなぶ)

市内に居住する精神障がい者(医療を受けている人)を対象に、軽作業・スポーツ・レクリエーション・教養・文化活動・社会適応活動を行い、仲間づくりや憩いの場を提供し就業意欲と社会適応能力の向上を図り、社会復帰を目指します。

〈実施場所〉

(はばたき工房)障がい者福祉会館 (ポジティブ21)稲武支所

重度心身障がい児サマースクール

小学生から高校生までの障がい児を対象に、学習(夏休みの宿題)・散歩・遠足・レクリエーション等を通じて自立と社会参加を促進します。

〈実施場所〉

サン・アビリティーズ豊田(障がい者福祉会館)
藤岡保健センター(藤岡支所)

生活介護・地域生活支援デイ〈自立支援法〉

障がい者の心身の特性に応じて、その人の持つ能力に応じ必要な日常生活上の世話及び食事サービス、入浴サービス、機能訓練、作業活動、創作活動を提供することによって心豊かな生活が送れるよう支援します。また、家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

〈実施場所〉障がい者福祉会館、旭・足助・下山・藤岡支所

【社会福祉協議会連絡先一覧】

- 豊田市福祉センター 総務課 34-1131 ●地域福祉課 31-1294 ●地域福祉サービスセンター 32-4341
- 障がい者福祉会館 34-2940 ●豊寿園 27-2200 ●旭支所 68-3890 ●足助支所 62-1857
- 稲武支所 82-2068 ●小原支所 65-3350 ●下山支所 90-4005 ●藤岡支所 76-3606

新しい豊田市福祉センターをご紹介します

第3回は、ホールをご紹介します。

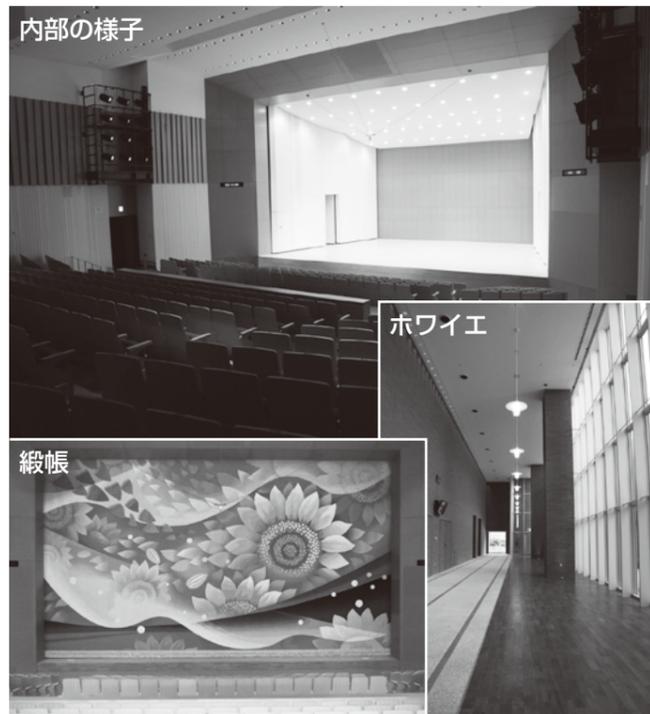
ホールは貸出施設の一つで、平成23年12月10・11日に開催される「第31回豊田市社会福祉大会」と「福祉健康フェスティバル2011」をオープニングイベントとして予定しております。12月13日以降のご利用は、9月から予約申請を承っております。

座席は575席あります。そのうち、車椅子をご利用の方がお使いいただける席を18席ご用意しており、その席までは入口からバリアフリーになっていますので、段差を気にせずご利用いただけます。更に、親子室を2室備えておりますので、小さなお子様をお連れの方でも安心してご利用いただくことができます。

ホール内には難聴者用の補聴システムが導入されていますので、補聴器をご利用の方に明瞭な音声をお届けすることができます(磁気コイル付補聴器が必要です。お持ちでない方には、事務所で専用受信機をお貸しします)。

ご利用にあたっては、舞台技術スタッフ(業務委託)により、設備に関するご案内や事前打合せ、当日の舞台管理を行わせていただくことで、安心してご利用いただけるようサポートします。

皆さまのご利用を心からお待ち申し上げます。



内部の様子

ホワイエ

緞帳

〈問合せ〉

豊田市福祉センター 電話 34-1131
(祝日を除く月曜日、12月28日～翌年1月4日は休館です)

東日本大震災被災地復興支援活動 ボランティアバスを運行しました!

豊田市社会福祉協議会では、市民の皆様からの「被災地でボランティア活動がしたい」との声を受け、6月27日(月)～7月1日(金)(現地活動は3日間)まで岩手県陸前高田市で市民ボランティア30名と一緒に活動を行いました。

被災地は自分にとって3年前の旅の思い出が詰まった場所でした。被害の映像を見て、少しでもお手伝いができればとの思いで参加をしました。自分の年齢も考え、破傷風の予防注射、常備薬など万全の準備をしました。30名のメンバーで市内広田地区休耕田に入った漂流物の片づけを行いました。活動当日の朝、どこで何をするのが決まるボランティア活動。予想される機材は持っていったが、限界がありました。しかし、仲間たちと工夫をしながら、前日の反省を翌日の活動に活かしながら少しずつ、1つずつ片づけを行いました。時には写真や現金、思い出の品が出てきました。現地の区長さんから「被災地の状況を多くの人に伝えて欲しい。忘れて欲しくない。」などの言葉が印象的でした。現地のボランティアセンタースタッフからも



「皆さんの活動はほんの少しですが、“その活動が必ずつながる”」と言われて、自分たちも役に立てたのではないかと感じて活動を終えることができました。

南 義人(岩滝町、71歳)



〈問合せ〉

地域福祉課 電話 31-1294

ご寄付ありがとうございました (H23.4.1~6.30 敬称略、順不同)

《豊田市社会福祉協議会への寄付》

(株)豊田柴田工業松田一雄、岡本修司、(株)玉越、市高年大学6期生六三四会、香西洋子、
(株)ジェイ・ピー、鈴木英樹、進藤経夫、浅井悦司、成瀬博一、セウチダンススクール、
梅田康司、豊田シルバー・レク・フォークダンスの会、加藤鈴江、小池鈴子、
暮らしの手作り工房ちるま、和戸璋敏、熊谷武、市ボランティア連絡協議会役員



《豊田善意銀行への寄付》

野見山住人、市高年大学第3期文化工芸学科、チャイルド文化、
丸和電子化学(株)黄レンジャーサークル、(株)都工業、すまいる演歌同好会

平成22年度事業報告

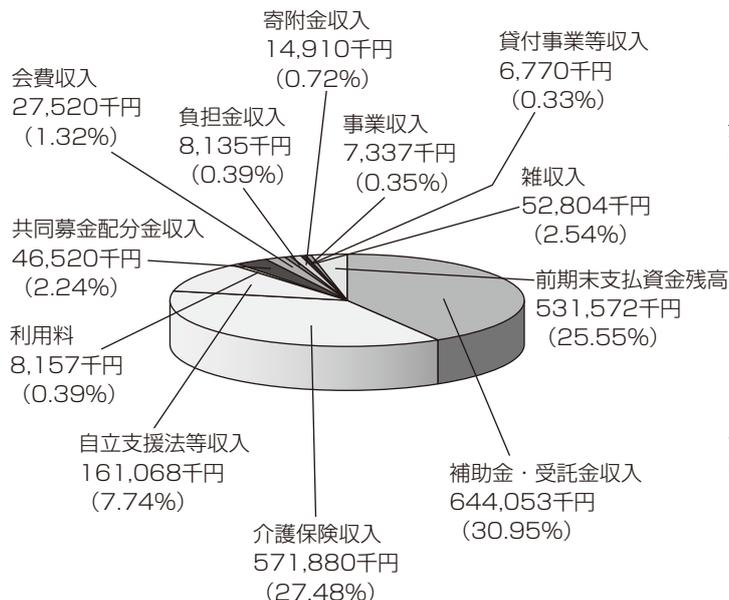
豊田市社会福祉協議会は地域福祉推進の中核を担う組織として、災害復興支援ボランティアネットワークを始め、より身近な地域でお互いに支えあう地域づくりの推進のため、地域のコーディネーターやネットワークの機能を積極的に活用、拡大すべく「住民主体」の福祉活動を展開してまいりました。

平成22年度においては、「地域の福祉力」向上のため「ご近所支え合い事業」を新規に実施するとともに、「学校ボランティアコーディネーター派遣事業」の拡充、「地域ふれあいサロン」の新規開拓など地域住民の方や関係機関等のご協力をいただき、事業基盤を整備してまいりました。

また、地域包括支援センターの相談支援活動の充実と地域福祉活動の協働体制を整備し、個別の福祉課題解決に向けた対応を強化しました。

平成22年度決算報告

収入
2,080,725千円



支出
1,512,903千円

